

## 2. 輸液ポンプ

### (1)輸液ポンプ（通信機能有）

- 1 出荷時の流量設定範囲は、実際の使用状況と照らし合わせて 0.1~1200mL/h と十分であること。また、流量の精度は±5%以内であること。
- 2 重量は約 2.0kg と軽量で、複数台数を設置する場合もラックシステムを用いることにより、電源のとりまわし、視認性にすぐれること。
- 3 AC/内蔵バッテリーの 2 電源方式を採用し、内蔵バッテリーにより輸液ポンプは約 5 時間連続使用が可能（新品のバッテリー、満充電、常温、25mL/h の場合）であること。
- 4 内蔵バッテリーの充電量及び残量を 5 段階の液晶表示で表示出来、駆動時間の目安に出来ること。
- 5 視覚的に輸液セット装着を促す「ガイダンス機能」を有し、セットの装着を確実にいかつフリーフロー現象等の発生リスクを軽減できること。
- 6 輸液セットと組み合わせたフリーフロー防止機構を有し、輸液セットを取り外した先のフリーフローを防止する「アンチフリーフロー機能」を有すること。
- 7 設定ダイアルを使用することで、流量入力時の桁の間違い防止を図れ、かつ簡単に設定ができること。
- 8 閉塞圧モニタは、ラインの内圧レベルを 3 段階で色とアイコンを変えて表示でき、閉塞状況の確認が迅速にできること。
- 9 キーロック機能を有すること。
- 10 スタンバイ機能を有し、開始忘れ警報を 20 分にまで延長できること。
- 11 動作インジケータを有し、注入・早送り等の動作中は緑の点滅で、警報状態は赤の点滅で表示することにより、ポンプの駆動状態が分かり易いこと。
- 12 動作履歴表示機能を有し、最大 10,000 件の動作履歴を確認できること。
- 13 警報・警告機能を備えること。このことで画面および動作インジケータ、警報ランプ、ブザーなどで異常発生を知ることができ、複数台使用時にも警報状態が識別しやすいこと。
- 14 各種のセルフチェック機能を備え、装置異常の事前発見が可能であること。
- 15 メンテナンスタイマ機能を有し、設定した期間を超過するとメンテナンス時期であることを表示できること。
- 16 ポンプ本体に着脱のねじ操作を簡易におこなえるワンタッチポールクランプを有し、簡便に着脱が可能であること。
- 17 ポールクランプは取り付け方向を 90 度変更可能であり、水平なポールあるいはメディカルレールへの取り付けも可能であること。
- 18 各社部門モニタリングシステムとの両方向の連携が可能で、各種情報の共有が可能なこと。
- 19 3 連、6 連、9 連のラックシステムにより電源集約が可能なこと。
- 20 厚生労働省医薬局長通知（医薬発第 0318001 号）「輸液ポンプ等に関する医療事故防止対策について」に適合していること。
- 21 全国に支店・出張所があり、アフターサービスに支障をきたさないこと。
- 22 機器の搬入、据付け、調整一式を含むこと。